

年

組

番  
名前

1 次の①から⑩の文の——部の漢字の正しい読みを、下の「」にひらがなで書きましよう。

- ① 本の 目次 を見る。 もくじ
- ② 話し合いを 重ねる。 かさ
- ③ 新しいビルを 建築する。 けんちく
- ④ 親から 独立してくらす。 どくりつ
- ⑤ 参加することを 許す。 ゆる
- ⑥ 音楽室に 移動する。 いどう
- ⑦ すばらしい 演技におどろく。 えんぎ
- ⑧ むだを 省くようにする。 はぶ
- ⑨ 新しいクラスに 慣れる。 な
- ⑩ いつも 清潔なハンカチを持つ。 せいけつ

2 次の①から⑩の文の——部のひらがなを漢字に直して、下の「」に書きましよう。

- ① 東の方角から たいようがのぼる。 太陽
- ② 病院で いしやにみてもらう。 医者
- ③ 部屋の おんどを記録する。 温度
- ④ 重い石を はこぶ。 運
- ⑤ ボールを なげる。 投
- ⑥ 先生に そうだんする。 相談
- ⑦ 魚を やいて食べる。 焼
- ⑧ 庭に うめの木を植える。 梅
- ⑨ みんなで きょうりよくする。 協力
- ⑩ 星の位置が へんかする。 変化

3 次の1と2の言葉を、例のように、ローマ字でていねいに書きましよう。また、3のローマ字の読みをひらがなで書きましよう。

- ⇒ inu
- 1 [くすり] ⇒ kusuri
- 2 [たべもの] ⇒ tabemono
- 3 happa ⇒ [ はっぱ ]

4 次の①から③の（ ）に入る言葉を、あとの1から4までのの中から一つ選んで○でかこみましよう。

- ① さか上がりができなかった。（ ）  
1 したが、がんばって練習した。
- ② 朝から雨がふっている。（ ）  
1 それとも 2 それでは 3 なせなら 4 ところで
- ③ 友達の家で電話をした。（ ）  
1 そのため 2 けれども 3 このように 4 それから

5 次の例のように、二つの言葉が組み合わせられて、一つの言葉になることがあります。あとの①・②の「」の中に入れるのにふさわしい言葉を、それぞれ書きましよう。

- (例) 持つ + 上げる ↓ 持ち上げる
- ① 走る + 続ける ↓ 走り続ける
- ② 結ぶ + 付ける ↓ 結び付ける